

DXの時代を生き抜くための 現場技術者に必要なプロマネ力

～失敗せずに『高度な課題解決力』を鍛え合う方法を学び明日から実践～

日時：2024年2月21日（水） 9:30 ～ 17:30

場所：JAIST金沢駅前オフィス

講師：物語りラボ ナレッジハンター 吉野均氏

受講料：18,000円（税込）

主催 一般社団法人JAIST支援機構 後援 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

DXの時代を生き抜くための 現場技術者に必須なプロマネ力

講師紹介



物語りラボ
ナレッジハンター
吉野均氏
プロジェクト
マネジメント学会
文献賞 受賞者

現場技術者に必須なプロマネ力の本質『高度な課題解決力』とは？

失敗せずに課題解決力を高度化できる『ものがたり継承法』とは？

現場で明日から実践可能な『秘密のエピソード』とは？

【対象者】現場技術者、チームリーダー、プロジェクトマネージャ

【最低催行人員】10名 ※申込者が最低催行人員に満たない場合は中止となります。その場合入金された受講料は返金します。

※参加の際は、事前にテキストをダウンロードし、閲覧のためにパソコンをお持ちください（WiFi環境はございません）。

【講座設定の背景と講座の目的】

昨今、「デジタル敗戦からの復興」が叫ばれ、企業は生き残りを賭けたDX(デジタル変革)での競争力強化を迫られています。しかし、企業のDXは、今一歩進んでいません。その根本原因の一つは、DXプロジェクトは、試行錯誤の繰り返しであり、参画する全てのプロフェッショナルが『高度な課題解決力』を持って自律的に課題解決を繰り返して始めて成功できるからです。つまり、プロフェッショナルを目指す現場技術者が『高度な課題解決力』を持たなければ、企業も技術者自身も生き残れません。この『高度な課題解決力』は、まさにプロマネ力の本質と言えるものです。

当講座の目的は、プロマネ力の本質『高度な課題解決力』とは何かを深く学ぶと共に、失敗せずに課題解決力を現場で互いに高め合う方法を講義や事例演習で楽しく学び、明日から実践に移すことです。合わせて地元の技術者ならではの悩みや苦勞、知恵を共有する場、チャンネル作りのお役に立つ場となるようグループ演習を取り入れています。

【お申し込み】

以下のホームページからお申し込みください。

https://www.jaistso.or.jp/information/monogatari_lab_course-2/

【講座の概要】

DXの時代を生き抜くための現場技術者に必須なプロマネ力の本質『高度な課題解決力』とは、自身に与えられた課題の解決だけでなく、ちょっと役割を越えた困難な課題を自律的に解決する力です。

『高度な課題解決力』は、『PM実践力』または『PM実践知』と一般に呼ばれていますが、右の図の通り定義します。なぜ、その様に定義しているか、『高度な課題解決力』が発揮された課題解決プロセスの例をミニ演習で体験していただきながら深く学んでいただきます。課題解決力は、技術者なら誰もが持っていますが、経験により高度化するには、大失敗のリスクを伴います。そこで大失敗のリスクを冒さずに課題解決力を高度化できる『ものがたり継承法』の実践をご提案します。

『ものがたり継承法』は、富士通株式会社でのナレッジ継承活動により効果を検証したPMノウハウ継承法です。『ものがたり継承法』の仕組みと、富士通での実践の概要、その成果の一例を紹介します。

最後に、『ものがたり継承法』の中で、明日から現場で簡単に実践できる『秘密のエピソード』と呼ぶフレームワークを演習も交えて楽しく学んで頂きます。『秘密のエピソード』とは、プロジェクトの成否を分ける修羅場の課題に遭遇し、それを何とか解決した経験や、残念ながら失敗した経験を『修羅場概要』と『修羅場のエピソード』の2枚のワークシートにまとめることで互いの修羅場の課題を解決した知恵を伝え合う手法です。『秘密のエピソード』を使えば、現場のちょっとした課題を解決した知恵も楽しみながら伝え合うことで、課題解決力を互いに高め合うことができます。

『秘密のエピソード』の事例や作成方法を学んだ後に、グループ演習で『秘密のエピソード』を作成し、発表頂きます。この演習を通して『秘密のエピソード』を現場で実践できる知恵をお持ち帰りください。講座に参加される皆さんは、プロジェクトの修羅場の経験か、技術上の課題を解決した修羅場の経験、人生の転機となった修羅場の経験を共有できるよう、箇条書きのメモで簡単に整理した上でご参加ください。

プロマネ力の本質『高度な課題解決力』の定義

『PM実践力』 または 『PM実践知』

『課題志向性』

強い目的意識と修羅場でも決してくじけない精神力

『課題解決力』

課題を
発見する力

最善の策を
決断する力

冷静に状況を
把握する力

状況変化への
柔軟な対応力

複数の打開策を
ひねり出す力

成功に導く
リーダーシップ

【テキスト目次】 ※変更する場合がございますので予めご承知下さい

No	講義内容	備考
1	現場技術者に必須なプロマネの本質『高度な課題解決力』	アイスブレイク演習
1	DX・新事業開発プロジェクトに存在する3つの修羅場	ミニ演習
2	DXの時代を生き抜くための『高度な課題解決力』	
3	プロマネの本質『高度な課題解決力』とは	ミニ演習
2	失敗せずに課題解決力を高度化できる『ものがたり継承法』	
1	『ものがたり継承法』による『疑似体験』の仕組み	
2	『ものがたり継承法』の富士通での成果事例・概説	
3	『DX実践記』を疑似体験 変革マインドと実践力を学ぶ	ミニ演習
4	『ものがたり継承法』の実践方法の概説	
3	現場で明日から実践可能な『秘密のエピソード』	
1	課題解決の知恵を伝え合う『秘密のエピソード』とは	
2	地銀3次オンを成功に導いたプロマネの『秘密のエピソード』	ミニ演習
3	海外パッケージ適用PJのリーダー達の『秘密のエピソード』	ミニ演習
4	『秘密のエピソード』の作成方法と実践演習	『秘密のエピソード』作成演習
4	おわりに	
1	振り返りとまとめ	クロージング演習
2	皆さまへのエール	

【講師略歴】吉野均氏

1977年3月東京工業大学卒業。同年4月富士通株式会社に入社。現役時代37年間は、主に金融機関様などのお客様向けプロジェクトを、担当者・リーダー・管理者・責任者の立場から経験。現場で起こる様々な課題解決を通し、プロジェクトマネジメント（PM）力を身に付けた。2014年6月嘱託再雇用後の5年半は、現場力・実践力といったナレッジ継承活動に取り組み、その活動を通して、PM実践力を経験の記録として『ものがたり』に見える化し、次世代に継承する『ものがたり継承法』を確立した。退職直後の2020年1月より、在職時の43年間の経験を活かして『ものがたり継承法』の講師とナレッジハンター業を開始し、現在に至る。

- ・2018年8月 PM（プロジェクトマネジメント）学会「文献賞」受賞：「ものがたり」を使ってPMナレッジを継承
 - ・2018年12月 PM学会誌に論文掲載：『ものがたり』を介したPM実践知の継承法
 - ・2020年8月 社会情報大学院大学 実務家教員養成課程 修了
 - ・2020年11月 PM学会秋季大会論文発表：疑似体験が経験を補完できる条件に関する考察
 - ・2021年11月 PM学会秋季大会論文発表：未成熟な『PM基本知識』と機能しない『経験で継承』への処方箋
 - ・2022年4月 PMAJ（日本プロジェクトマネジメント協会）で『PMノウハウ継承研究会SIG』を立上げ
 - ・2023年9月 『PMノウハウ継承研究会SIG』としてPMAJ優秀貢献賞を受賞
- 『ものがたり』研究会のPMシンポジウム2023の録画講演「PMBOK® 第7版12の原理・原則を事例で伝える物語～研究会の活動状況と試作品の紹介～」の概要がYouTube動画約10分で [こちらから](#) ご視聴いただけます。

∞∞ 私が推薦します ∞∞

プロジェクトマネジメントの知識体系はPMBOKなどで整理されていますが、現実には極めて経験的な知識であり、書籍やマニュアルを読んだだけで修得できるものではありません。一方、多くの経験を積むには長い時間がかかります。特に、DXプロジェクトに関しては、経験が少ないという方も多いと思います。

その経験を仮想的に体験できるのが「物語」です。「物語」は、プロジェクトマネジメントの知識継承手法として有効ですが、講師の吉野均氏はIT企業での「物語」活用を長年実践してこられた第一人者です。今回は金沢駅前で開催とのことで、たいへん貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



北陸先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科 副研究科長
トランスフォーメティブ 知識経営研究領域長
教授 内平 直志 氏